



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アクリーティブ株式会社

コード番号 8423 URL <http://www.accretive.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 菅原 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部長

(氏名) 高山 浩

TEL 03-3552-8701

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	877	7.0	448	8.2	435	5.8	393	12.8
28年3月期第1四半期	820	20.8	414	33.4	411	33.6	348	29.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 416百万円 (17.5%) 28年3月期第1四半期 354百万円 (31.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	9.18	—
28年3月期第1四半期	8.14	—

(注) 1. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。平成28年3月期第1四半期についても当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。この変更により、営業収益を変更しておりますが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の変更はありません。詳細は、【添付資料】P. 3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第1四半期	19,066		7,653	39.6			176.36	
28年3月期	21,460		7,390	34.1			170.89	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 7,558百万円 28年3月期 7,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	3.60	3.60
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	3.80	3.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,820	5.7	870	△1.4	900	0.6	850	10.0	19.83
通期	3,980	9.8	1,900	3.0	1,920	3.7	1,790	3.5	41.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	43,427,500 株	28年3月期	43,427,500 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	566,800 株	28年3月期	566,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	42,860,700 株	28年3月期1Q	42,860,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府主導による金融緩和や経済政策の効果等を背景に、企業収益や雇用情勢に改善の兆しが見られ、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、英国のEU離脱問題による金融市場の混乱や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化といった懸念すべき事項も多いことから、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループはアセットビジネス事業の収益確保に努めるとともに、ソリューション事業の推進に注力し、レジオペレーション業務の受託拡大や外貨決済・両替支援サービスである「G P a y」の拡販に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、債権取扱高50,240百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業収益877百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益448百万円（前年同四半期比8.2%増）、経常利益435百万円（前年同四半期比5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益393百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、その他（保険代理店事業）を行っていた株式会社サンアソートを連結除外しております。

## ①アセットビジネス事業

主要取引先であるドン・キホーテグループの債権取扱高は増加したものの、医療・介護分野の債権取扱高減少等により、セグメントの営業収益は453百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は227百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

## ②ソリューション事業

レジオペレーション業務の受託増加により、セグメントの営業収益は427百万円（前年同四半期比27.4%増）、営業利益は332百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

## ③その他

該当事項はありません。（前年同四半期の営業収益は23百万円、営業利益は9百万円）

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,393百万円減少し、19,066百万円となりました。これは主に有利子負債の返済に伴う現金及び預金の減少によるものであります。なお、買取債権のうち債権売却によって流動化されている買取債権残高は1,112百万円であります。

## (負債)

負債については、前連結会計年度に比べ2,656百万円減少し、11,412百万円となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

## (純資産)

純資産については、配当金の支払い及び四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ262百万円増加し、7,653百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有利子負債の返済により、前連結会計年度末に比べ2,295百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末における資金残高は2,297百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は339百万円（前年同四半期は169百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は74百万円（前年同四半期比58.6%減）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,715百万円（前年同四半期比72.4%増）となりました。これは主に短期借入金の返済及び配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、表示方法の変更に伴い、平成28年5月9日付決算短信で公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想を変更しております。表示方法の変更の詳細は、「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（4）追加情報」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社サンアソートの全株式を譲渡したため、連結範囲の対象から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

（表示方法の変更）

従来、ソリューション事業に係る費用の一部について、「販売費及び一般管理費」として表示しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より「ソリューション事業原価」として表示する方法に変更しております。

これはレジオペレーション業務等の受託拡大により、ソリューション事業の金額的重要性が高まってきたことから、当社の営業収益をより適正に表示するために、「ソリューション事業原価」として営業収益から控除する方法に変更を行うものです。

また、この変更に伴い、従来は一括して掲記していた「営業収益」を、当第1四半期連結累計期間より事業の種類ごとに独立掲記する方法に変更しております。

これらの表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業収益」として表示していた928,758千円は、「アセットビジネス事業収益」468,919千円、「ソリューション事業収益」436,804千円、「その他の事業収益」23,034千円として、「販売費及び一般管理費」として表示していた475,827千円は、「ソリューション事業原価」108,126千円、「販売費及び一般管理費」367,700千円としてそれぞれ組み替えております。

なお、この変更により「営業収益」は変更前に比べて108,126千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,593,310	2,297,744
買取債権	13,569,075	13,546,352
営業貸付金	1,097,149	1,114,738
売掛金	747,120	732,824
その他	498,845	476,939
流動資産合計	20,505,502	18,168,599
固定資産		
有形固定資産	94,086	93,341
無形固定資産		
のれん	237,901	165,916
その他	68,703	66,910
無形固定資産合計	306,604	232,827
投資その他の資産		
その他	553,977	571,496
投資その他の資産合計	553,977	571,496
固定資産合計	954,668	897,666
資産合計	21,460,171	19,066,266
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	509,082	550,542
短期借入金	11,506,000	8,894,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	141,876	56,581
預り金	403,673	358,033
賞与引当金	58,015	26,526
その他	421,596	503,800
流動負債合計	13,340,243	10,689,484
固定負債		
長期借入金	400,000	400,000
社債	300,000	300,000
その他	29,257	23,463
固定負債合計	729,257	723,463
負債合計	14,069,501	11,412,947
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,224,823	1,224,823
資本剰余金	293,165	293,165
利益剰余金	5,851,991	6,091,258
自己株式	△73,684	△73,684
株主資本合計	7,296,296	7,535,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,888	20,597
為替換算調整勘定	3,263	2,696
その他の包括利益累計額合計	28,152	23,294
非支配株主持分	66,221	94,461
純資産合計	7,390,670	7,653,318
負債純資産合計	21,460,171	19,066,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業収益		
アセットビジネス事業収益	468,919	453,708
ソリューション事業利益		
ソリューション事業収益	436,804	811,885
ソリューション事業原価	108,126	387,897
ソリューション事業利益	328,677	423,987
その他の事業収益	23,034	—
営業収益合計	820,631	877,696
金融費用	38,118	28,629
販売費及び一般管理費	367,700	400,291
営業利益	414,812	448,775
営業外収益		
受取地代家賃	4,415	4,474
その他	1,450	1,052
営業外収益合計	5,866	5,526
営業外費用		
為替差損	2,458	13,189
社債利息	2,468	1,645
貸貸費用	3,832	3,832
その他	297	0
営業外費用合計	9,057	18,667
経常利益	411,622	435,634
特別利益		
子会社株式売却益	—	95,274
特別利益合計	—	95,274
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	59,706
特別損失合計	—	59,706
税金等調整前四半期純利益	411,622	471,203
法人税、住民税及び事業税	52,385	49,355
法人税等調整額	10,337	5,584
法人税等合計	62,722	54,939
四半期純利益	348,899	416,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	22,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	348,899	393,565

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	348,899	416,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,129	△4,290
為替換算調整勘定	3,919	4,945
その他の包括利益合計	6,049	654
四半期包括利益	354,948	416,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,948	388,707
非支配株主に係る四半期包括利益	—	28,210



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	411,622	471,203
減価償却費	6,975	10,821
のれん償却額	3,550	2,464
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,747	57,225
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,822	△30,146
受取利息及び受取配当金	△991	△665
社債利息	2,468	1,645
子会社株式売却損益(△は益)	—	△95,274
買取債権の増減額(△は増加)	△556,080	△36,344
売上債権の増減額(△は増加)	31,790	14,296
営業貸付金の増減額(△は増加)	84,503	△17,588
長期営業債権の増減額(△は増加)	3,630	2,163
仕入債務の増減額(△は減少)	29,417	41,460
未払金の増減額(△は減少)	57,032	89,930
預り金の増減額(△は減少)	62,586	△18,589
前受収益の増減額(△は減少)	4,583	△415
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,503	8,666
その他	△148,032	△75,515
小計	△53,015	425,336
利息及び配当金の受取額	991	665
法人税等の支払額	△117,089	△86,812
営業活動によるキャッシュ・フロー	△169,113	339,189
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	184,160	—
有形固定資産の取得による支出	△2,988	△4,786
無形固定資産の取得による支出	△183	△6,153
差入保証金の差入による支出	△200	△3,416
差入保証金の回収による収入	126	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	89,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	180,913	74,925
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,344,500	△2,560,600
長期借入金の返済による支出	△131,250	—
配当金の支払額	△98,579	△154,298
その他	△194	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,574,524	△2,715,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,841	5,412
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,559,883	△2,295,565
現金及び現金同等物の期首残高	5,671,324	4,593,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,111,441	2,297,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アセット ビジネス	ソリュー ション (注) 4	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	468,919	328,677	797,597	23,034	820,631	—	820,631
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	7,069	7,069	—	7,069	△7,069	—
計	468,919	335,747	804,666	23,034	827,701	△7,069	820,631
セグメント利益	246,359	253,742	500,101	9,051	509,152	△94,340	414,812

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社サンアソートにて保険代理店事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△94,340千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」に記載のとおり、前第1四半期連結累計期間について表示方法の変更に伴う組替え後の数値を記載しております。

この結果、「外部顧客への営業収益」が「ソリューション」において108,126千円減少しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アセット ビジネス	ソリュー ション	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	453,708	423,987	877,696	—	877,696	—	877,696
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	3,600	3,600	—	3,600	△3,600	—
計	453,708	427,587	881,296	—	881,296	△3,600	877,696
セグメント利益	227,039	332,230	559,269	—	559,269	△110,494	448,775

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,494千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。